

千葉進県議 県議会本会議で一般質問

6月29日の県議会6月定例会において、高教組出身の千葉進県議会議員が、一般質問に立ちました。「教育振興について」「子どもの貧困対策について」「企業撤退への対応について」等、8項目について質問を行いました。

また、7月3日に行われた商工文教常任委員会では、「学校閉庁日について」「部活動休養日について」「学校図書館新聞購読費について」等質問を行いました。



質問に立つ千葉進県議

おもな質問内容

「教育振興について」

- 盛工定時制の存続について、再度慎重審議をお願いしたい。
- 定時制通信制教科書給与、給食費補助制度について
兵庫では約5,000人が給与されている。岩手県は機能していない。使い勝手が悪い。生徒や保護者の負担が大きい。資格条件について、教職員が説明しやすくしてほしい。
定通修学資金貸付制度について、月14,000円貸付、卒業すれば償還免除になる制度。2017年度の利用は2人。保証人も2人必要。様式や提出書類の簡素化をしていただきたい。
- 少人数学級の推進について
国への35人以下学級の働きかけをしていただきたい。
- 大学入試改革について
2020年度、今の高校1年生から大学入試が変わる。「記述式で採点には民間業者」「英語検定7団体活用」授業どころではなく検定試験のための勉強になってしまう。家庭の負担も増える。早急な情報提供をお願いしたい。

「子どもの貧困対策について」

- 日本学生支援機構の給付型奨学金について
本年度から運用開始。全国で20,503人が採用になっている。岩手県への推薦枠はどうだったか。

「企業撤退への対応について」

- 一関の北上製紙、NECプラットフォームズの閉鎖について
地域経済、地元への影響、雇用者の子の就学、進路への影響、高校の進路の影響等が危惧されている。県教委の考えを伺う。

定時制通信制教科書給与制度、修学資金貸付制度について、教育長は「勤労生徒が少なくなっていることが大きな要因」と答弁しています。必ずしも働いていなくても受給できる制度なため、不十分な答弁であり、今後折衝を続けていきます。

高教組は傍聴行動を行っていますが、一般質問の様子は「岩手県議会インターネット中継」で録画をみることができます。

今後も日政連議員・高教組出身の千葉進県議と連携し、教育諸課題解決に向けとりくんでいきます。